

教育課程の実施	道徳教育・特別活動の組織的・効果的推進という観点から全体計画の作成状況とその活用の実際、及び指導上の諸問題についてつかむ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育全体を通じて行う道徳教育の現状 2. 全体計画に対する教師の意識と指導の実際 3. 特別活動全体計画の作成状況 4. 特別活動実践上の諸問題 	全体計画の機能的な働きと教師の共通理解に基づく統一ある実践
教育課程の評価	教育課程の編成と実施が適切に行われたかどうかの確かめと、その改善方策をたてるための評価について、実状を明らかにし、評価の研究開発の資料とする。	<ol style="list-style-type: none"> ◎1. 教育課程評価の実施状況 ◎2. 教育課程評価の意義内容 ◎3. 教育課程評価の組織・方法・手順・時期・実施者 ◎4. 教育課程評価の問題点 ◎5. 新教育課程1年目の反省（成果と課題） 	教育課程の経営の問題点の所在と背景の分析（本研究の中核となる資料をつかむ）
評価	教育目標達成度についての評価の実際と、それが教育課程の編成にどのように反映されているかを確かむ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育目標達成評価の目的・実施（意義の把握） 2. 教育目標達成評価の組織・内容・方法 3. 新教育課程の実施と教育目標の達成評価 4. 児童の受容調査と教育課程編成への活用 	教育目標の達成評価と教育課程編成への反映

実践力向上の勢	する。特に校内における教師相互の人間関係や研修意欲の醸成についての傾向をさぐる。	<ol style="list-style-type: none"> ◎3. 協力態勢の改善 ◎4. 研修のための環境（ふんいづくり） 	
新教育課程と授業の実際	新教育課程実施1年間をふりかえり、その趣旨と実際の指導を関連づけて調査し、県内の教師の一般的傾向をまとめる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新教育課程実施1年間を経た教師の率直な感想 ◎2. 新教育課程における授業展開上の問題点 ◎3. 重点目標・努力目標と授業との結びつき ◎4. 授業の質的改善を図るための課題 ◎5. 教材内容の削減と指導の実際 ◎6. 創意を生かした教育活動の実践と反省 	教育課程の編成と実施（計画より実施への流れ）の関連
道徳教育・特別活動	新教育課程実施後道徳・特別活動の指導に当たってどのような配慮がなされているか、教師の実践をふまえた反省をもとに、その傾向をつかむ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 道徳教育の年間指導計画の活用状況 2. 道徳の時間の指導上の問題点 3. 特別活動全体計画・年間指導計画の活用状況 4. 特別活動実践上の問題点・困難点 	学校用調査の同項目とあわせて分析し、教育目標・編成の基本方針との関連から吟味・検討

2. 教師用

項目	設問のねらい	設問の内容	研究との関連 ◎印
学年・学級経営	学年・学級目標及び学年・学級経営計画の視点から調査を行い、学年・学級経営の実態と問題点について考察を加え、その充実、改善の具体策をさぐる。	<ol style="list-style-type: none"> ◎1. 学級目標の意識と指導の実際 ◎2. 学級目標設定の手順 学級経営計画と実践への活用 4. 学年目標の設定と共通理解 5. 学年経営計画の基本的な考え方 ◎6. 学年会の機能とその運営 	教育目標の学年・学級化 学年・学級経営計画と実施・評価の関連
週指導計画	週指導計画の内容と活用の実際について調査し、日々の授業実践（教育課程の実施）の基盤としての問題点を明らかにし、改善・充実の指針とする。	<ol style="list-style-type: none"> ◎1. 授業の実際と週指導計画の役割 ◎2. 年間指導計画との関連性 3. 週指導計画の中に取りあげる内容（記載事項） ◎4. 授業の実践に生きるための改善策 	教育課程実施の指針として、週指導計画を見直す（計画と実践の一体化）
実践力向上の勢	教育課程実践上の諸問題の解決に当たって、その協力態勢の実際について調査	<ol style="list-style-type: none"> ◎1. 実践上の諸問題解決に当たっての協力態勢への欲求 ◎2. 研修意欲を高める人 	教育課程の実施を支える態勢の確立

3. 児童用

番号	項目	設問のねらい	研究との関連
問1	児童の教育目標の意識と生活の実際	学校の教育目標は児童一人一人にどのような機会にその意識や関心をよびおこすのか、また、日常どの程度に理解され、生活そのものに結びついているのか、教育目標を児童の側にとって見直す資料とする。	教育目標の見直しと児童の生活の実態
問2	一日の日課表と児童の生きがい	新教育課程実施に伴う一日の日課表の中で、児童に生きがい（よろこび・楽しさ・やる気）をもたせ、学校生活をより豊かに充実させるものは何かについて明らかにする。	創意を生かした教育活動・日課表の改善
問3	授業中の喜び	児童が授業中喜びを感じる時はどんなときかを調査し、授業改善のための資料とする。	新教育課程実施（授業）の評価資料
問4	教師と児童の触れ合い	教師と児童の心の交流、親密感について調査し、人間関係を基盤とする信頼度について把握する。	充実した学校生活の基盤